

# Introduction

## 刊行にあたって

1989年にアメリカで実用化されたホワイトニングは、アメリカはもとより、日本でも一般的になりつつあります。アメリカではすでに99%以上の歯科医院でホワイトニング治療を行っており、日本でも新規に開業される歯科医院のほとんどでホワイトニングを導入しています。

テレビや雑誌に出ているタレントが軒並み白い歯を見せ、メディアなどでホワイトニング治療が取り上げられる頻度が高まっている今日、一般の人の“白い歯”に対する欲求も高まっています。一昔前に言われていたように、黄色い歯のほうがよいと思っている人はほとんどいないと思われます。事実、国民向けのアンケートによると、お口の悩みで歯の色がいつも上位にランクされています。このようなことから、審美歯科治療にホワイトニングは必要不可欠なものになりつつあることがわかります。また、日本歯科審美学会が認定する歯科衛生士向けの資格「ホワイトニングコーディネーター」も、2015年4月現在ですでに1万人以上が誕生しており、業界内での関心の高さがうかがえます。

しかしながら、実際に多くの症例を行っている歯科医院はまだ一部であり、ホワイトニングを行っていくうえで数々の疑問が出てきていると思います。そのような疑問にお答えするのが、本増刊号です。

日々の診療にお役立ていただければ幸いです。

2015年8月  
編集委員一同